〔史跡の活用事例〕

「松ケ浦小学校区の史跡めぐり（松ケ浦あるある探検隊）の取組」

１．学校名	南九州市立松ケ浦小学校
２．学年・人数	３年生　５人　４年生　２人
３．日時・場所	⑴　学習会等の日時・場所 令和６年９月～11 月　事前学習・発表資料作成：総合的な学習の時間 令和６年 10 月 12 日（土）　史跡めぐり（ 仲覚兵衛生誕地，為朝石等　） 令和６年 10 月 22 日（火）　史跡めぐり（ 稽古所跡，竹迫川交易跡等　） 令和６年 10 月 25 日（金）　史跡めぐり（ 御本陣跡，相之浦交易跡等　） ⑵　発表の日時・場所 令和６年 11 月 17 日（日）閉校記念学習発表会　体育館
４．活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	⑴　名称・時代 ア　仲覚兵衛（なかかくべえ）生誕の地，骨粉水車（こっぷんすいしゃ）跡：江戸時代 イ　竹迫川（たけさこがわ）交易跡，相之浦（あいのうら）交易跡：鎌倉時代～室町時代 ウ　御本陣（ごほんじん）跡，御茶屋の場（おちゃんば）跡：江戸時代 ⑵　特徴等 ア　海運業を営んでいた仲覚兵衛は，世界で初めて獣骨が肥料として効果があることを発見し，骨粉水車を設置し，獣骨肥料の量産を図った。 イ　中世において知覧の海岸線では，中国との交易が盛んに行われていたこと（貿易陶磁器散布地，めくい等）を示す史跡が多く残っている。 ウ　薩摩藩主が領内を巡視するときに，休憩所や宿泊所としていた館の跡や藩主が休憩をとれるように造られた茶亭があったとされる場所
５．活用の取組において地域との連携や工夫した点等	史跡めぐり（松ケ浦あるある探検隊）は，自分たちの住む校区についての理解を深めることを目的として始めた取組である。史跡めぐりで調べたことを報告する発表用プレゼンテーションを作成する際は，地図や写真を活用して分かりやすい資料作りを心掛けた。調べた感想なども発表に効果的に入れた。自分たちの住む校区を誇りに思う態度の育成につながっている。
６．取組の様子（研究発表等）	 仲覚兵衛生誕の地 地域の「お宝」マップ 閉校記念学習発表会
７．感想・意見 （参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	【児童】 ・史跡めぐり（松ケ浦あるある探検隊）をして，昔の松ヶ浦小学校区の様子や人物などをいろいろ知ることができた。本当に驚きや新発見の連続だった。 【教員】 ・子供たちが歴史と伝統に育まれてきた校区の中で生活していることに気付くとともに，校区への誇りと愛情を育むよい機会となっている。 【地域の方】 ・子供たちに郷土愛を養うよい機会になり，よく調べていると好評である。